

# ⑩社会とつなげる・社会とつながる先生、活躍中（栃木県） / （仙台市）

## 社会教育の専門性を、こんな課題に…

- # 地域での学びを充実させたい
- # 地域の「ひと・もの・こと」と連携して教育課程を豊かにしたい
- # 学校と地域との連携体制を進めたい

## 取組のポイント

- ① 学校教員が社会教育主事講習を受講し、身につけた社会教育の専門性を、地域に根差した特色ある学校づくりや、カリキュラムマネジメントの推進等に活かせるよう、校務分掌や制度に位置づけ。
- ② (栃木県) 県内すべての公立学校に**地域連携教員を配置**。社会教育主事有資格者教員を積極的に活用（教員籍職員のうち、有資格者数1,166名〔2019年10月〕）
- ③ (仙台市) 社会教育主事の資格を有する公立学校教員に対し、**教育委員会から社会教育主事を委嘱する独自制度**を継続。（2019年度は188名に委嘱）

## 取組の様子 ・ 成果等

- ・(栃木県) 学校と地域が連携した教育活動に生涯学習の観点をプラス、子供たちの生きる力の育成と地域に根ざした特色ある学校づくりをめざす。
- ・(仙台市) 地域情報の把握やネットワークづくり、カリキュラムマネジメントの推進役、校内における地域コーディネーターとの窓口等としての活躍に期待。

# 社会教育有資格教員の活用 ～地域連携教員（栃木県）・嘱託社会教育主事（仙台市）～

## 「地域連携教員」制度（栃木県）の概要

学校と地域が連携した教育活動を、生涯学習の観点から効果的・効率的に展開し、**子供たちの生きる力の育成と地域に根ざした特色ある学校づくりを推進**するため、平成26年度から**県内すべての公立学校に地域連携教員を配置**。

その際、**社会教育主事有資格者の教員を積極的に活用**している。

### 社会教育主事有資格者の計画的な養成

有資格者の公立学校への全校配置を目指し、計画的に養成している。

- ・教員籍職員のうち、有資格者数：1,166名（2019年10月現在）
- ・2019年度の社会教育主事講習受講者数：76名

#### 【社会教育主事有資格教員として期待される役割】

- 学校・家庭・地域との連携のための校内のコーディネート
  - ・ボランティアや様々な機関との連携、活動の企画・運営
- 社会教育の手法を生かした支援
  - ・校内研修やPTA研修会、家庭教育学級での参加体験型の学習を取り入れた研修
- 教育情報の収集と発信
  - ・地域の課題やニーズの把握・分析、学校からの情報発信
- 地域における社会教育活動
  - ・地域のボランティアグループへの参画 等

### 地域連携教員への支援

#### ○研修の実施

地域連携教員の役割や活動の進め方、ネットワークづくり等の研修を実施。

#### ○地域連携教員のための手引書の作成

理論編・実践編をまとめ、県HPにも掲載。

#### ○地域連携教員活動支援事業資料（リーフレット）の作成

事業概要、直近の国の動向や調査結果、県内の活動事例等を掲載し、校内研修資料等として活用。



## 「嘱託社会教育主事」制度（仙台市）の概要

社会教育主事の資格を有する公立学校教員に対し、**教育委員会から社会教育主事を委嘱**する独自制度（2019年度は188名を委嘱）。

地域情報の把握、地域資源や人材のネットワークづくり等に加え、**カリキュラムマネジメントの推進役**や**校内における地域コーディネーターとの窓口**等としての活躍が期待。

### 現場研修でフォローアップ

- ・市教育局生涯学習課による社会教育主事講習事後研修（年2回）
- ・「嘱託社会教育主事研究協議会」による研修（年2回）
- ・研修会を区ごとに年に数回設定・・・等



区社会教育推進研修会の様子

### 社会教育施設との連携を推進

・宮城野区社会教育推進連絡会では、“市民センターと学校が連携して行ってきた事例”を「防災系」「まちづくり系」など5つに分類して紹介するリーフレットを作成。学校と施設の両方で共有。



「宮城野区内・学校と市民センターの連携事例紹介」

### 研修のテーマ（例）

- ・「ファシリテーション研修」～子供たち、地域の方々の想いを引き出すスキルとマインド～
- ・「子供の育ちを支えるネットワークづくり」等のテーマでのグループワーク

・各区中央市民センターと共催の体験型学習事業等様々な社会教育活動に嘱託社会教育主事が協力し、指導及び援助。

